

令和6年度

事業計画書

社会福祉法人 やまなみ会

インターワーク

就労継続支援 A 型事業

就労継続支援 B 型事業

生活介護事業

目 次

1.	はじめに	・・・・・・・・1
2.	施設理念	・・・・・・・・1
3.	重点項目	・・・・・・・・1
4.	各事業計画	・・・・・・・・2
5.	行事予定	・・・・・・・・3
6.	研修予定	・・・・・・・・3

インターワーク事業計画

1 はじめに

昨年度より新型コロナウイルスの5類への移行があったものの感染者・体調不良者の対応に追われ、就労活動に大きく影響した。インターワークに就労継続支援A型（旧ウイルアークス）と統合することで活動範囲は広がったものの実習先の選別、獲得が難しく、売上を伸ばすことが出来なかった。今年度は新規事業として菌床作業の委託を受け、売上を確保するとともに支援学校や相談支援事業等と連絡を密にし、新規利用者の獲得に取り組む。また、既存製品の選別化を図り、ニーズに合わせた商品化、OEMを含めた販路拡大に努めた上で、利用者の作業しやすい環境、効率の良い作業場の構築に取り組み、経営の安定化を目指す。

また、本年度からの事業継続計画（自然災害、感染症）の実施に伴い、職員及び利用者に対して周知徹底を行う。

2 施設理念

- | | |
|--------|--|
| 生命の尊厳 | 利用者一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。 |
| 利用者主体 | 利用者の個性を重んじ、主体性・可能性を尊びます。 |
| 人権尊重 | 利用者に対するいかなる差別・虐待・人権侵害も許さず、人としての権利を尊重します。 |
| 社会参加 | 利用者が一市民として、社会生活できるように支援します。 |
| 働く喜び | 利用者が生産を通じて勤労の喜びを実感できるよう支援します。 |
| 経営の効率化 | 利用者の安定した生活が継続できるよう、効率的な経営を目指します。 |

3 重点項目

・ ニーズに沿ったサービスの提供

昨年度は、コロナ感染が5類になったとはいえ、イベントやレクレーションがあまり出来なかった為、今年度は積極的に行っていく。また、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、一人ひとりのニーズに合ったサービスの提供に努め、利用者の満足度の向上につながる様支援していく。

・ 新規利用者の獲得

支援学校や相談支援事業などへの営業活動を行うと共に隣接する草原の風と連携を図り、体験や実習を積極的に受け入れていく。

・ 健康管理の徹底

利用者の健康状態の把握を朝礼時に健康チェックを実施、日々の健康管理に努めた上で状況に応じて早めの対応に努める。

- ・ 新規事業の推進
新規事業の菌床作業を軌道に乗せ、安定した作業量を受注できるよう構築していく。
- ・ 緊急時における業務継続の推進
災害・感染症に備えた備品、備蓄の整備と定期的な点検を行う。

4 各事業計画

就労継続支援 A 型（定員 10 名 現員 7 名）

産山村という地域の強みである生産農家への職場実習を中心に利用者が働きやすい環境を整えたと共に実習先の開拓及び草刈り等の役務を行い、働く場を確保しつつ就労につながるよう支援を行っていく。また、新規事業として施設内にて菌の打込み・培養・保管管理の菌床作業を企業より受託し、早急に作業を軌道に乗せ、売上の確保につなげていく。

(1) 役務事業

- ・ 現存する職場実習を継続すると共に草刈り作業や清掃業務を行っていく。また、器具の充足を行い、幅広く作業の受注ができるよう環境を整える。

(2) 生産事業

- ・ 今年度の新規事業として菌床の培養・保管作業の受託を行う。また、生産に関わる実習先の開拓も含め、職場実習に参加できる利用者の獲得に努める。

就労継続支援 B 型事業（定員 20 名 現員 15 名）

ここ数年、作業受注状況の変動や経済状況の変化もあり水道光熱費、材料費の高騰などを踏まえ、今後作業単価や作業の効率化、材料の見直しを行い、収益アップに繋げていきたい。現存作業の外注作業に加え、食品加工、珈琲製造を継続すると共に、各種団体の販売会や知識、意識の向上を図るため、研修会等には積極的に参加していく。

(1) 外注作業

- ・ 施設外での作業実習の機会を増やす。その他、受注している箱折りや紐巻き作業等、不良品を出すことなく納品できるように取り組む。

(2) 食品加工事業

- ・ 酵素製品の加工を行うと共に、製品の見直し・選別を行い、ニーズに合わせた商品展開を行っていく。また、業務用製品を含め、OEM製品の開拓に取り組み、売上の向上に努める。

(3) 珈琲事業

- ・ 現存商品を中心にお客様のニーズに合わせ、少量から生豆でも販売できるように、展開を行っていく。また、ドンゴロス製品に於いては、市場に合ったバックの型を取り入れ、材料を無駄なく活用する為の製法に取り組み手に取りやすい価格での提供を行っていく。

生活介護事業（定員10名 現員6名）

在籍する方の高齢化や障がいの重度化が進む中、一人ひとりの利用者が安心して安全な作業に参加できるように、常に身体・精神状態を把握し、記録を残すことはもちろんの事、グループホーム職員との連携を図り、日中や夜間の情報共有に取り組む。また、近隣の耕作地を利用して収穫の楽しめる野菜の植え付け等の活動を行い、利用者の安定した生活が送れるように努めていく。

5 行事予定

イベント行事の機会を積極的に取り入れ、楽しみが持てるよう努める。

4月	お花見（昼食会）
7月	そうめん流し
8月	バーベキュー
10月	秋刀魚炭火焼
12月	クリスマス、忘年会
1月	初詣（扇森稲荷神社）、鏡開き（ぜんざい）
2月	恵方巻
3月	食事会

6 研修参加予定

施設外研修		施設内研修	
全国就労施設長研修会	施設長	職員会議（毎月）	全職員
熊本県障害者虐待防止権利擁護研修	職員	虐待防止委員会（年2回以上）	全職員
工賃向上支援研修会	職員	身体拘束等適正化委員会（年2回）	全職員
福祉サービス苦情解決事業研修会	職員	災害訓練	全職員
食品管理衛生者講習会	職員	火災訓練	全職員
社会福祉法人労務研修会	職員		

